

海田町財政状況レポート

～持続可能な財政運営に向けて～

Vol.1

「町債残高の現状と今後の償還計画」

令和3年5月
海田町企画部財政課

町債残高の現状と今後の償還計画

ねらい

- ・ 財政状況に大きく作用する町債残高，公債費負担に焦点を当てて経営分析

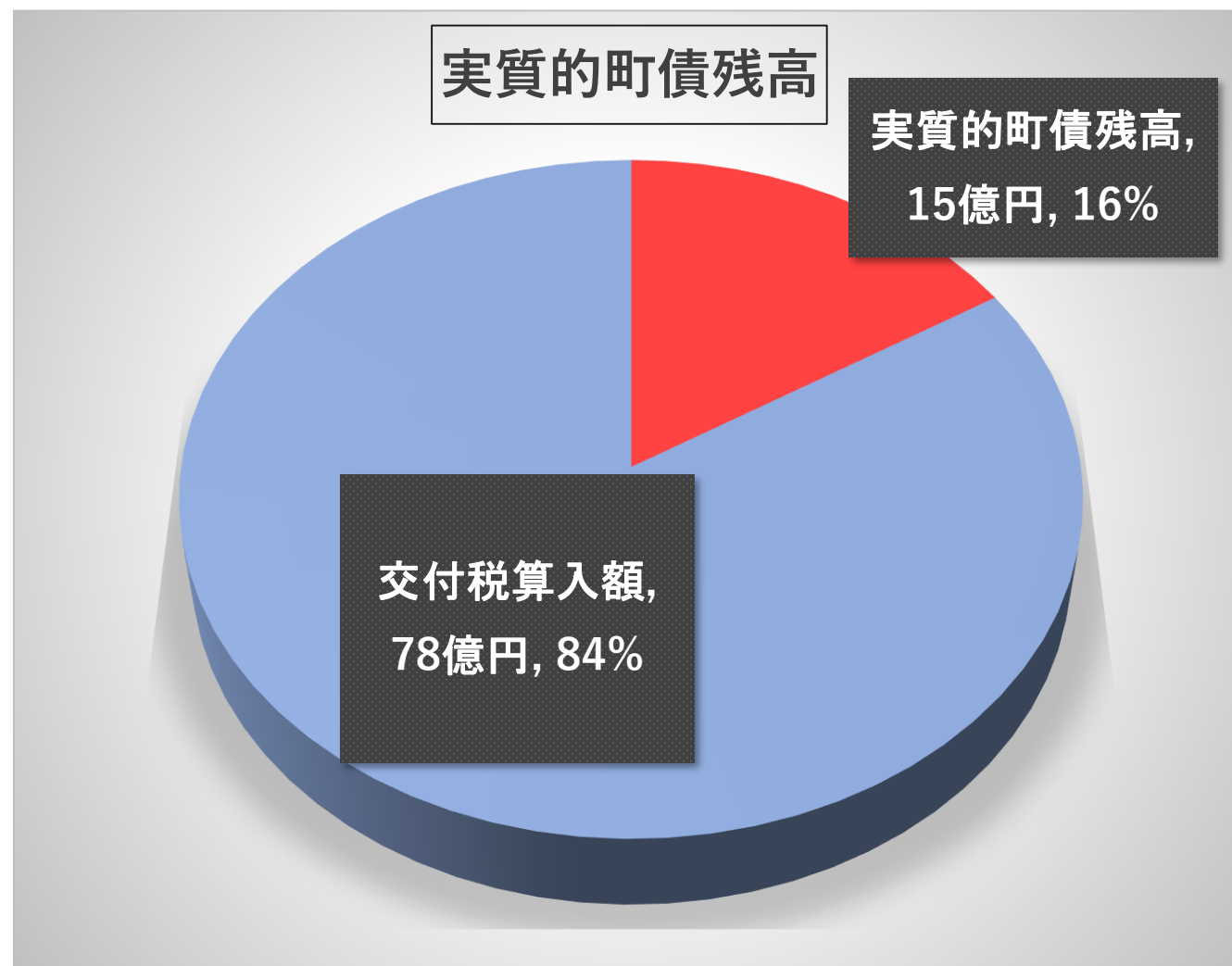
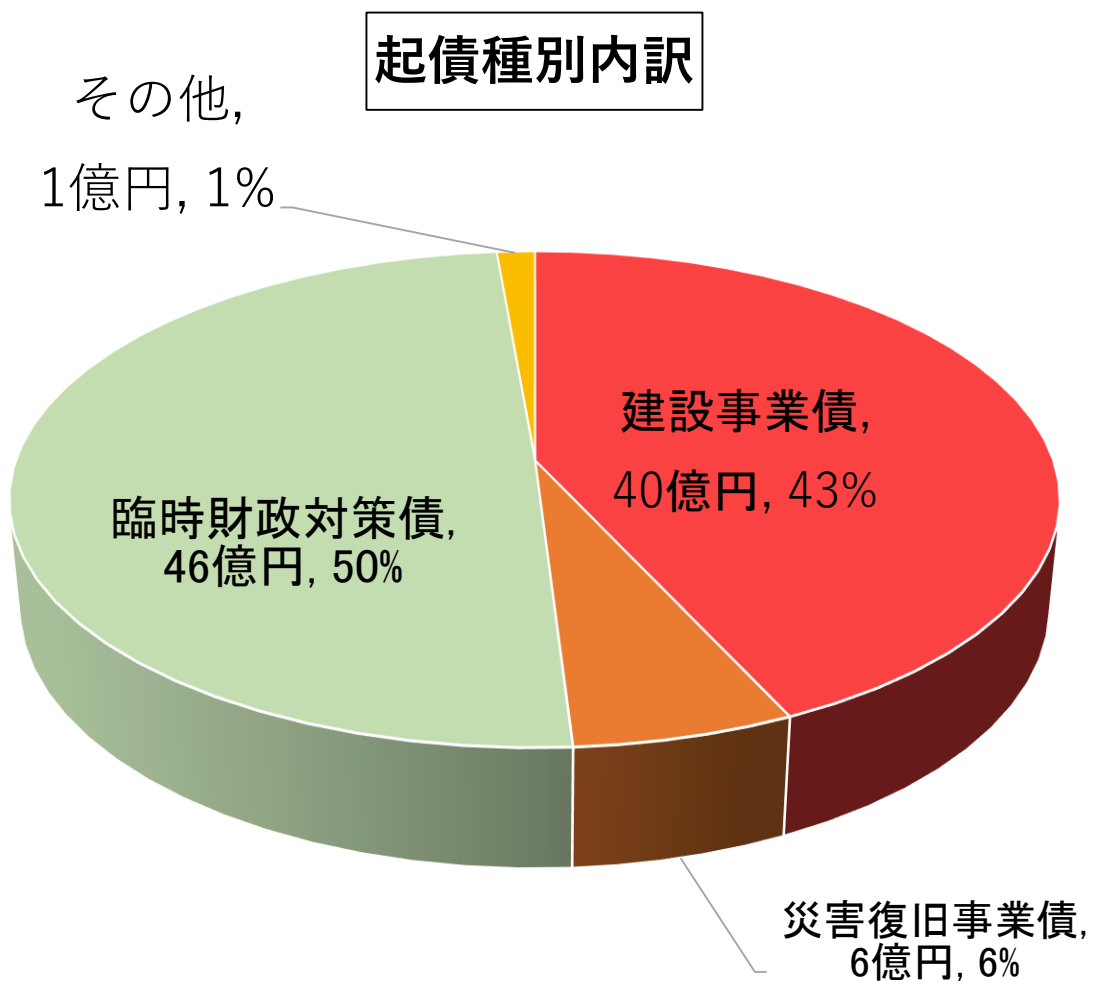
バックチェック（令和2年度までの実績の振り返り）

- ・ 町の負債状況を多角的に分析し，現状を明らかにする。
- ・ これまでの公債費負担の推移や繰上償還実績等から課題と効果进行分析

バックキャスト（令和3年度以降のシミュレーション）

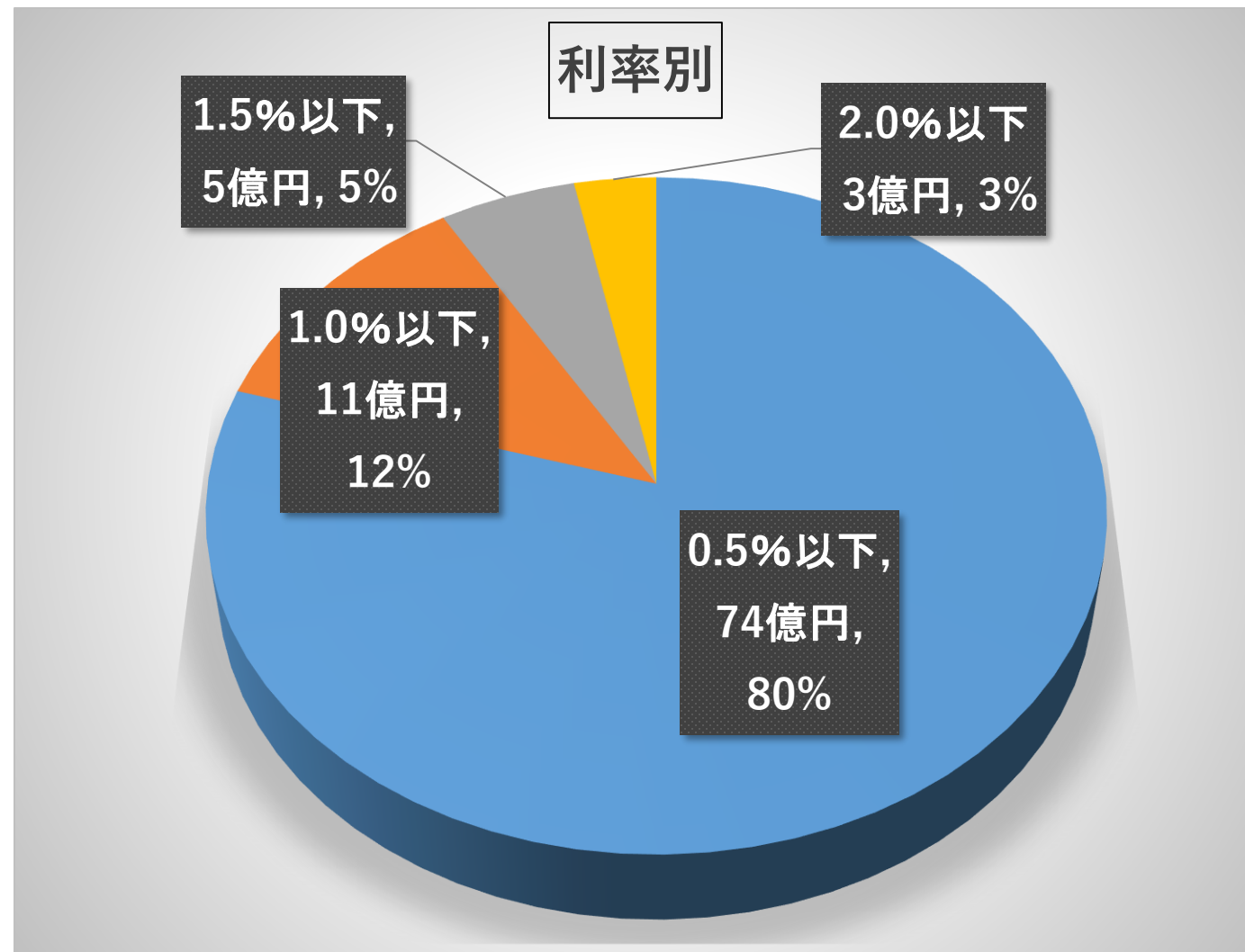
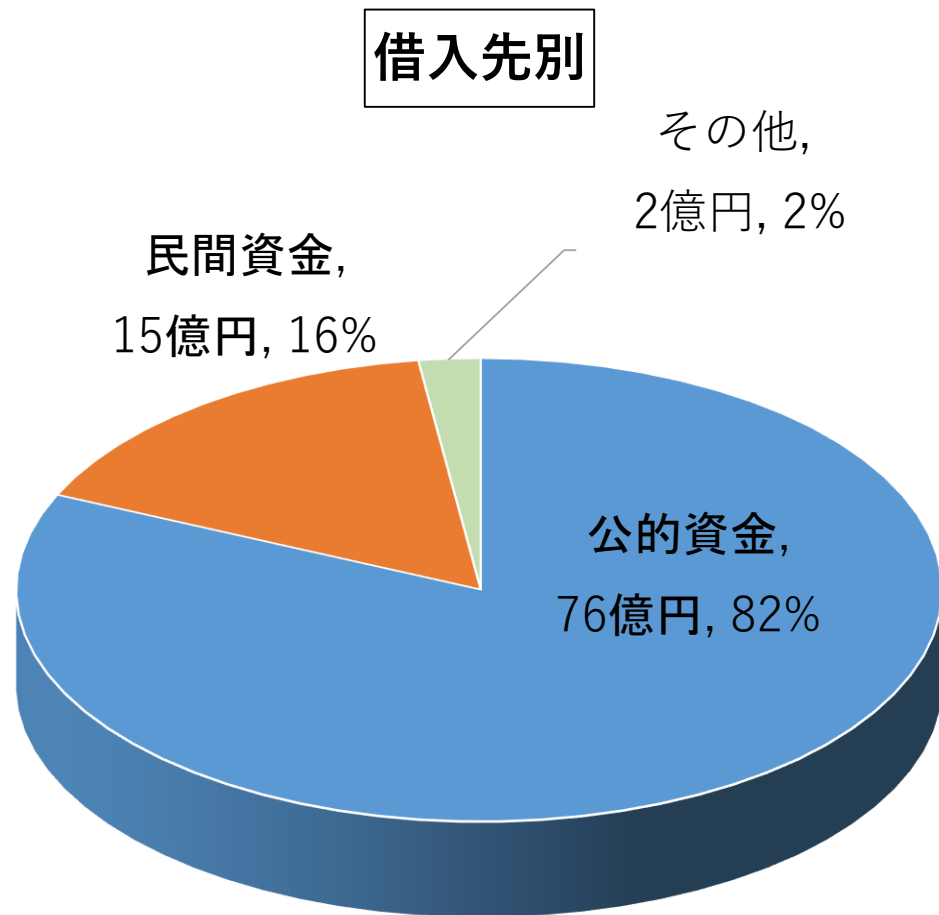
- ・ 公債費を適正に管理し，持続可能な財政運営のためのKPIを設定
- ・ 新庁舎整備も踏まえた償還計画を試算し，今後の見通しを立てる。

令和元年度町債残高（93億円）の内訳状況①



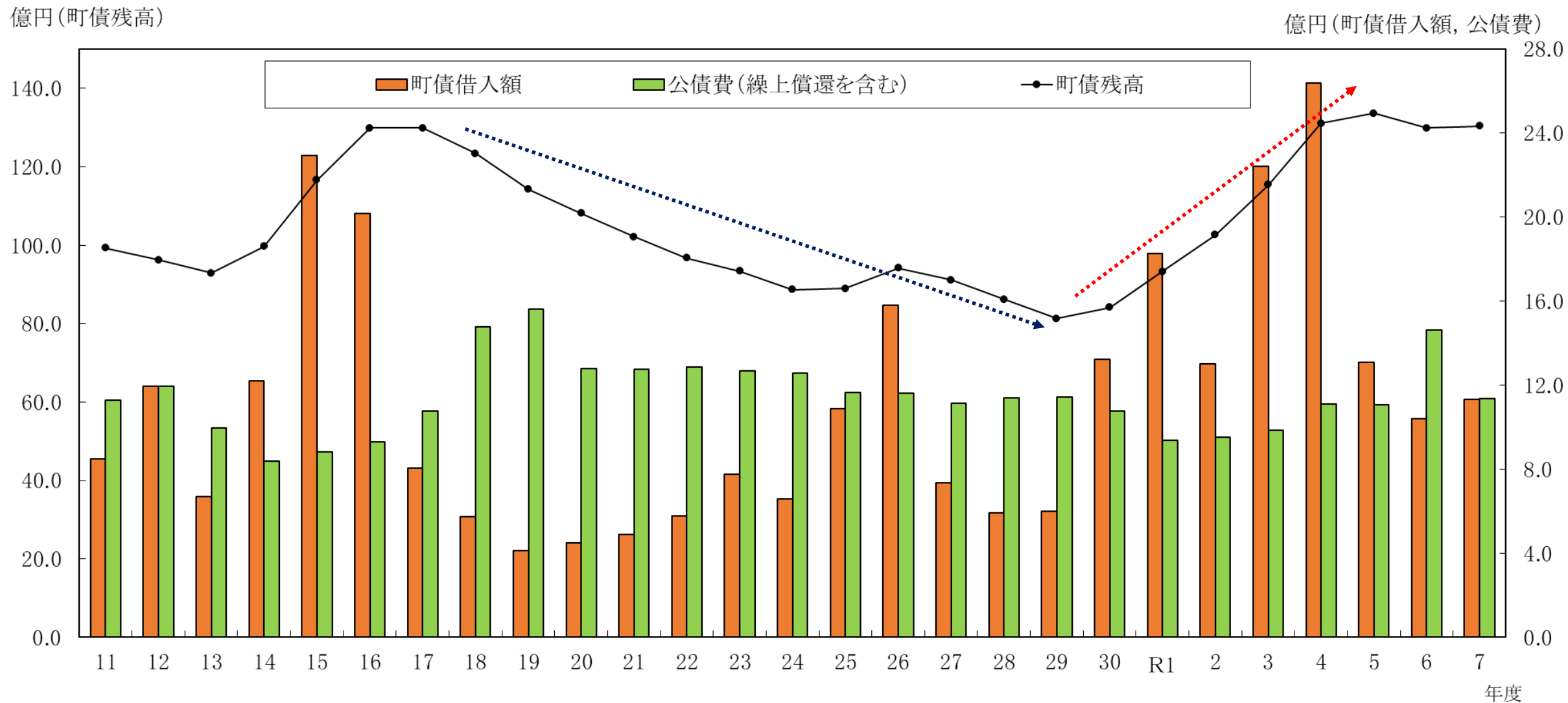
→交付税算入される町債が8割を超えて、実質的な町債残高は少ない

令和元年度町債残高（93億円）の内訳状況②



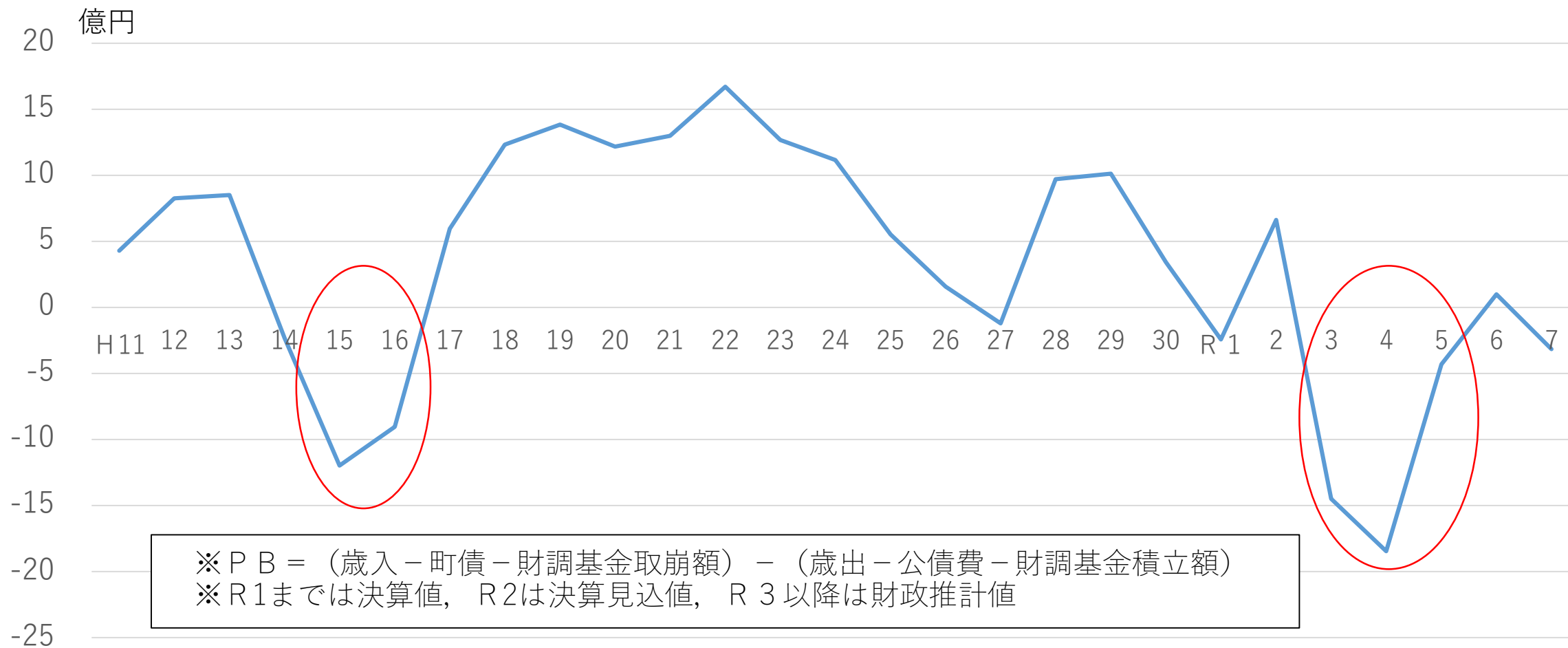
→利率0.5%以下の低利な町債が8割を占めて、高利率の負債は償還済みである

町債、公債費及び町債残高の過去の推移と今後の見込



→H30以降災害復旧, 織田スク整備, 庁舎移転等に係り町債残高は増加傾向

プライマリーバランス（P B）の推移

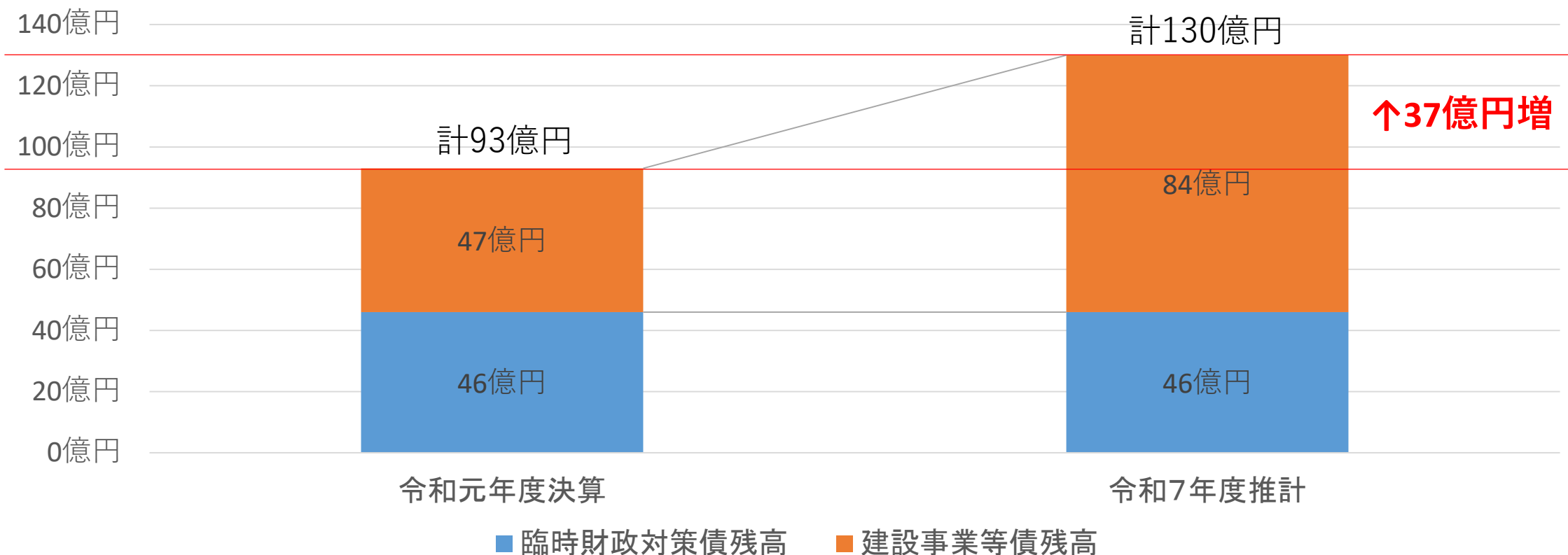


→ H15,16は福祉センター建設等に係る町債借入額の増により P Bは一時的に赤字

→ R3,R4は庁舎移転事業に係る町債借入額の増により P Bは一時的に赤字見込

今後の財政運営上の留意項目①

町債残高の推移(R 1 → R 7)

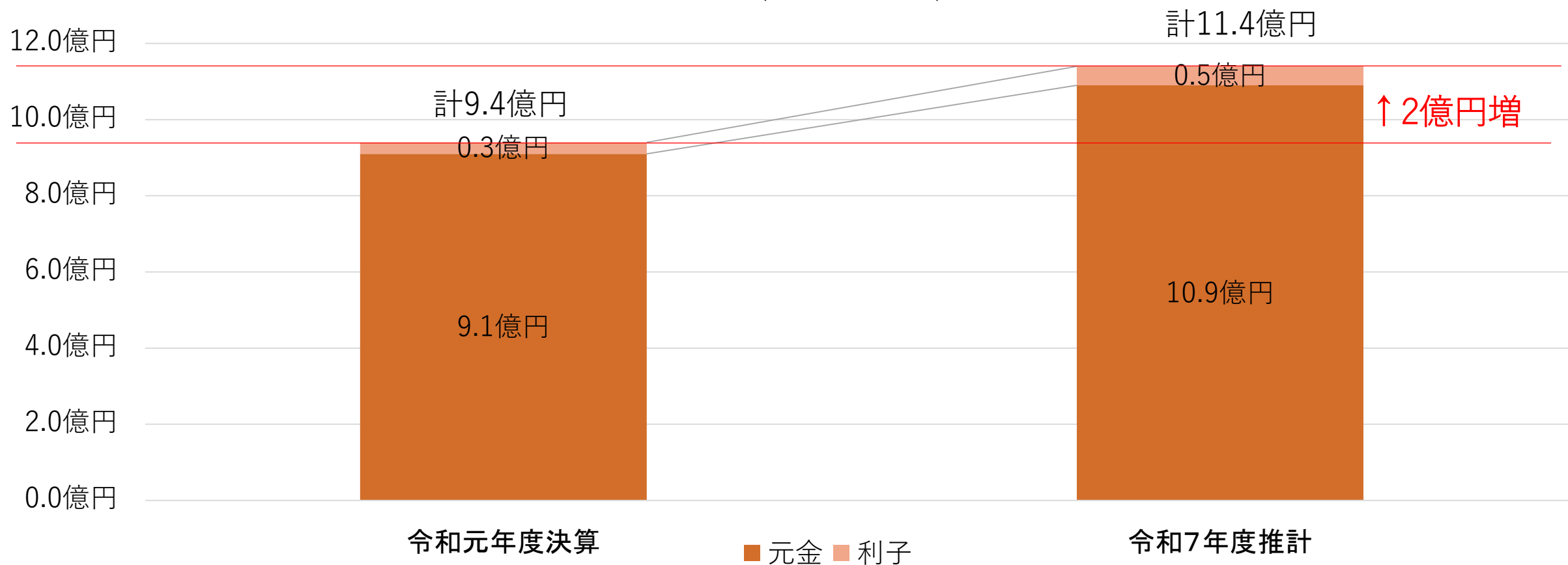


→町債残高 R1：93億円→R7：130億円（+37億円，+40%）

→ハード事業の推進により資産形成の一方で，負債（将来負担）の増に留意

今後の財政運営上の留意項目②

公債費負担の推移（R 1 → R 7）



→町債残高の増に伴い公債費負担の増（R1→R7：+2億円，+21.3%）
→義務的経費の公債費が2億円増加した分，政策的経費の圧縮に留意が必要

公債費適正管理に係る目標設定（K P I）

「海田町中期財政運営方針」に基づく目標設定

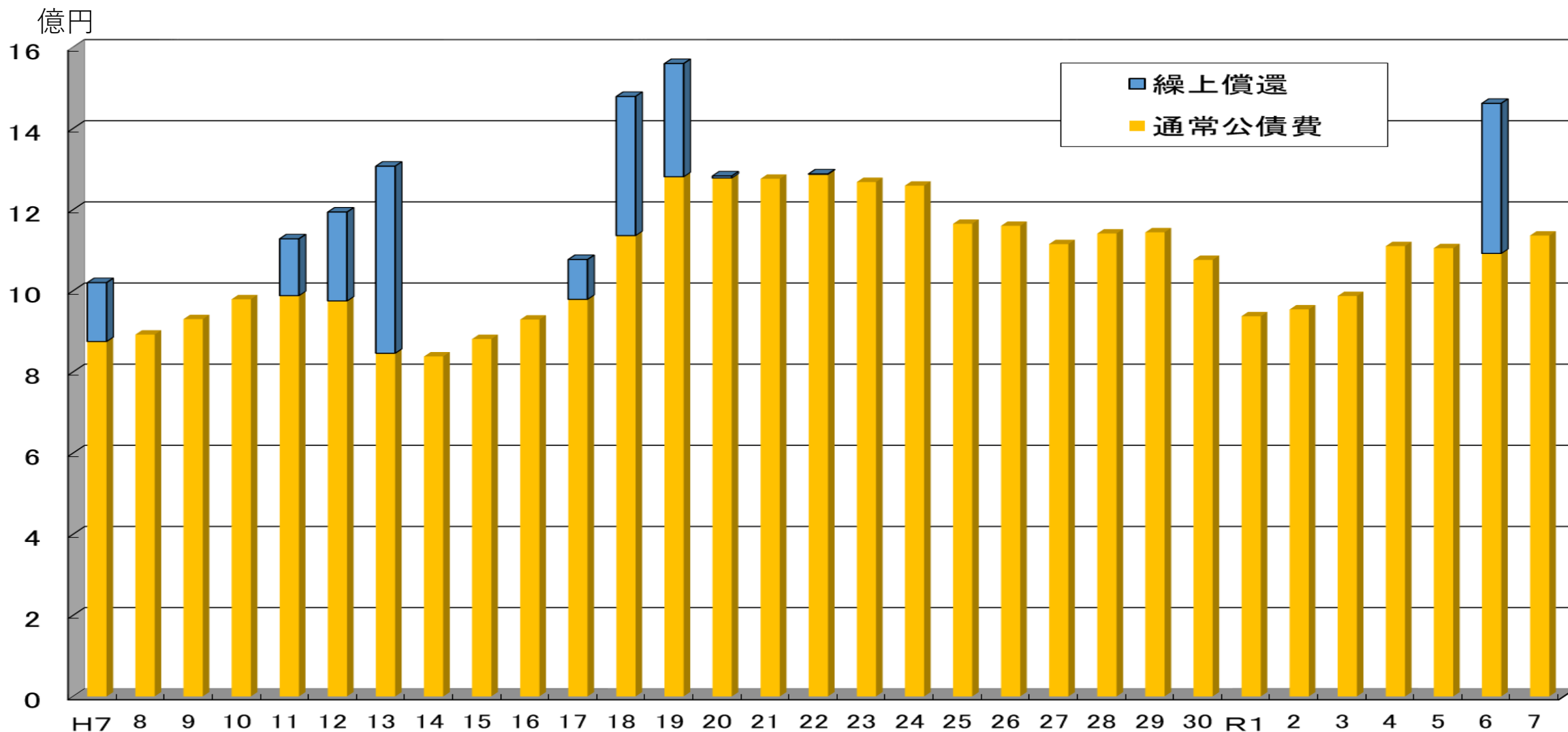
- ① 地方債残高130億円以下
- ② 将来負担比率109.5%以下
- ③ 実質公債費比率11.2%以下



【目標達成のための具体取組】

- ・ 繰上償還の実施，起債発行の抑制
- ・ 有利な特定財源の確保
- ・ プライマリーバランスの黒字化

公債費負担の推移と繰上償還の取組



→これまでも機を見て積極的に繰上償還を実施, 令和6年度も実施予定

繰上償還効果額

これまでの繰上償還実績

実施年度	繰上償還額（総額）	利子削減効果額（総額）
H7～H22実績	16.9億円	2.2億円

今後の繰上償還を検討（庁舎移転補償金を活用）

実施年度	繰上償還額	利子削減効果額	公債費抑制効果
R6	約3.7億円	約1600万円	約1000万円/年

→繰上償還により利子負担の削減及び公債費負担の抑制を図る。

中期財政運営方針に掲げる K P I 達成見込（R6繰上償還実施後）

K P I	R1決算値	R1 達成状況	R7推計値	R7 達成見込
① 地方債残高130億円以下	93億円	◎	130億円 ↑	○
② 将来負担比率109.5%以下	7.1%	◎	83.1% ↑	○
③ 実質公債費比率11.2%以下	7.6%	◎	9.5% ↑	○

→ R1決算では、全てのK P Iを大幅に上回っている。

→ R7推計ではR1値より増加はするが、K P Iは達成できる見込み

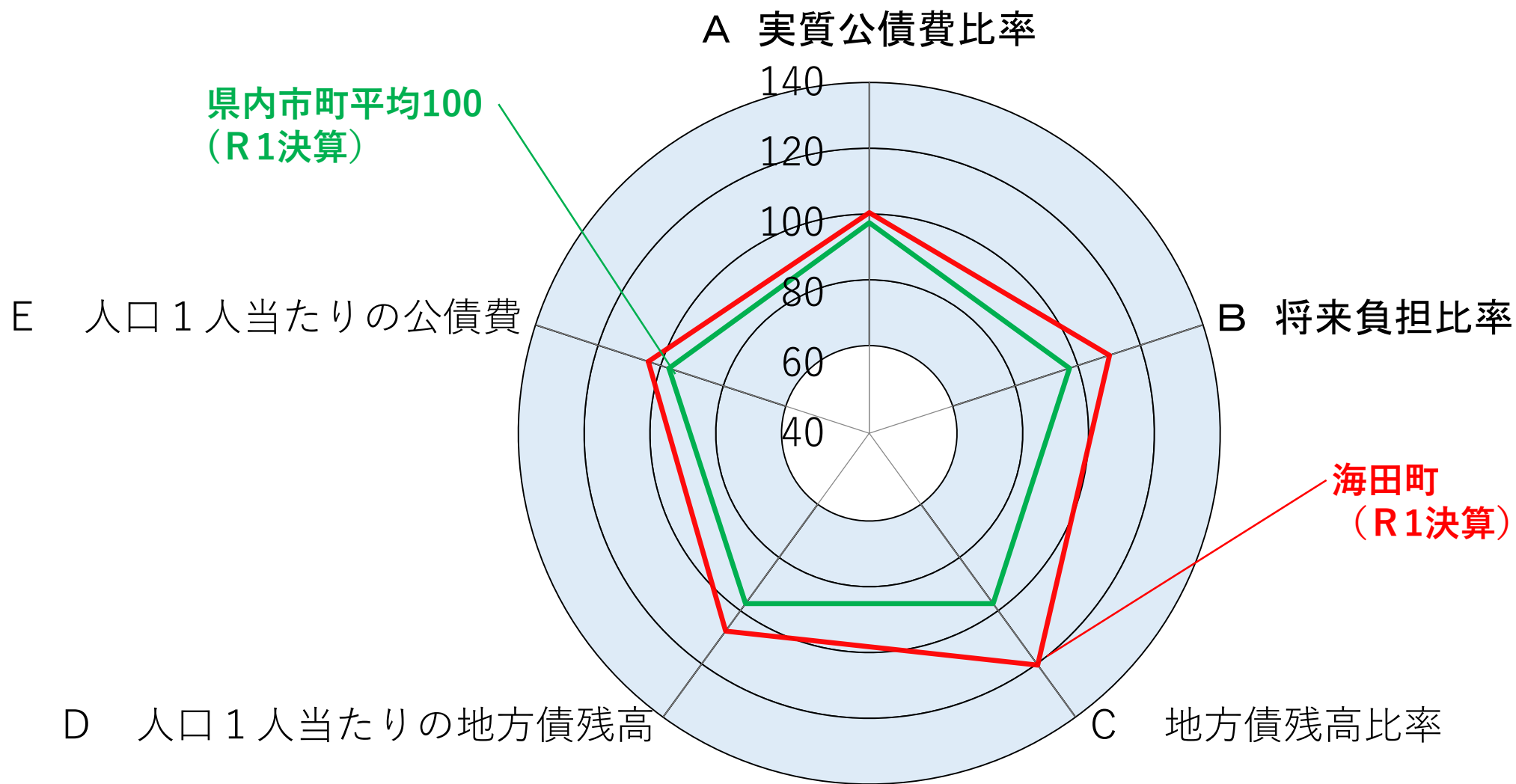
広島県内市町平均との比較（R1決算値及びR7推計値）

指標	概要	県内市町平均 (R1決算)	海田町 (R1決算)	海田町 (R7推計)
A 実質公債費比率	公債費の割合を指標化した健全化判断比率	8.8%	7.6%	9.5% ↑
B 将来負担比率	負債の割合を指標化した健全化判断比率	92.9%	7.1%	83.1% ↑
C 地方債残高比率	標準財政規模に占める地方債残高の割合	250.1%	148.6%	207.6% ↑
D 住民1人あたり 地方債残高	地方債残高を住民基本 台帳人口で除した値	67.4万円	30.9万円	43.2万円 ↑
E 住民1人あたり 公債費	公債費を住民基本台帳 人口で除した値	5.7万円	3.1万円	3.8万円 ↑

→ R1決算では、全ての指標において県内平均よりも良好な状況にある。

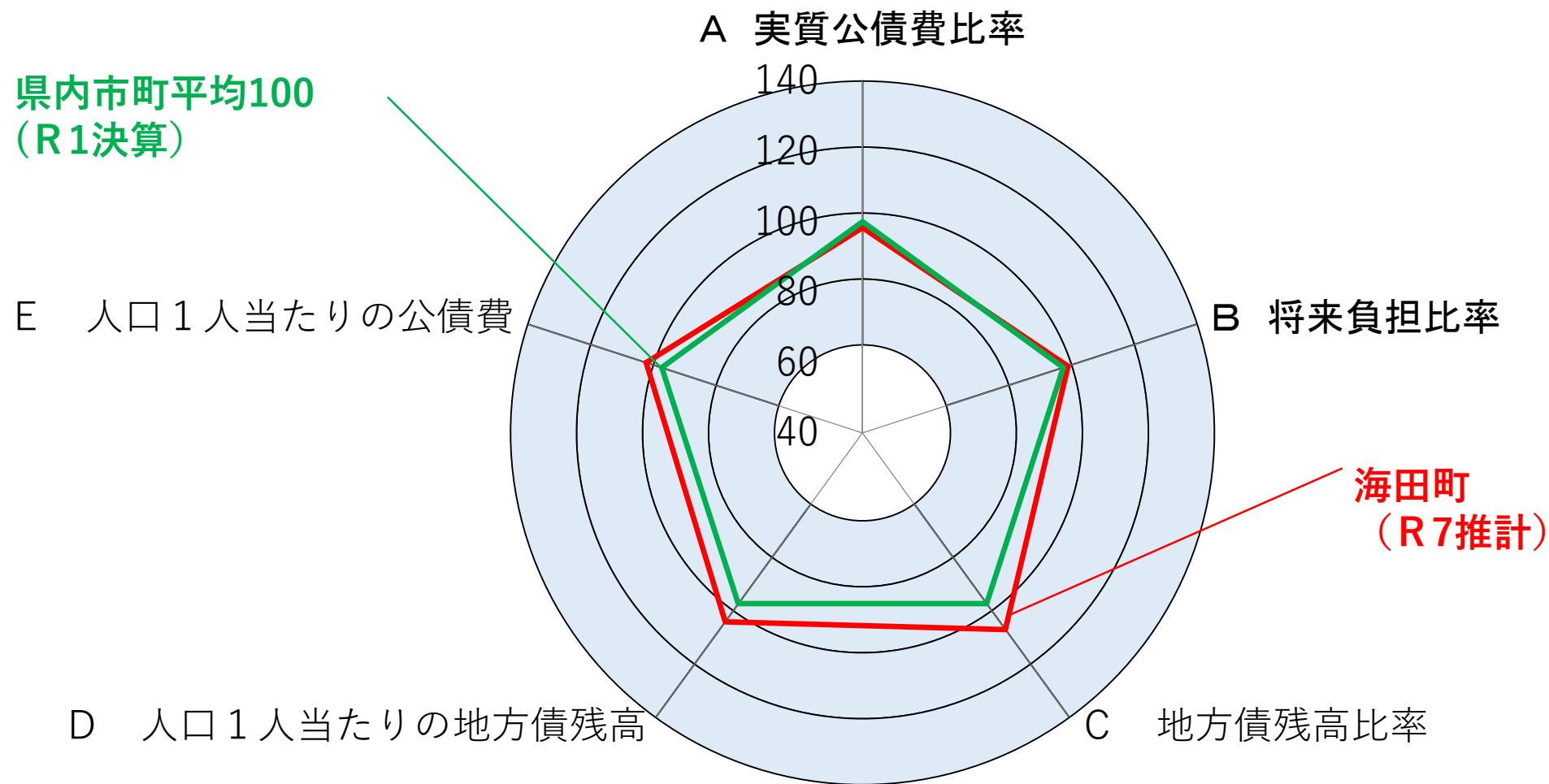
→ R7推計ではR1値より増加はするが、県内平均より概ね良好な見込。

県内市町平均比較による財政比較分析表①（令和元年度決算値）



→全ての項目で県内平均値100の外側にあり，財政状況が良い

県内市町平均比較による財政比較分析表②（令和7年度推計値）



→ R7海田町推計値においても、概ねR1県平均値と同等又は良好な見込

町債残高の現状と今後の償還計画に関するまとめ

町債残高、公債費負担等に係る財政状況については、

- ・ 現状は、県内平均に比してかなり良い状況にある。
- ・ 今後は、庁舎移転等に伴う町債残高及び公債費の増加には留意が必要
- ・ 庁舎移転完了後のR7時点では、県内平均と同等程度の見込みで、中期財政運営方針に掲げる目標設定（K P I）も達成見込
- ・ プライマリーバランスの黒字化を図り、中長期的に持続可能で安定した財政運営を行う。

海田町ホームページに掲載

(トップページ＞組織で探す＞財政課)

- ・ 海田町中期財政運営方針
- ・ 海田町財政収支見通し（令和３年度～令和７年度）
- ・ 海田町財政状況資料集（令和元年度決算）
- ・ 海田町健全化判断比率（令和元年度決算）